

平成26年度予算・市の施策に関するご意見等について

	ご意見・ご要望	26年度取組内容
1	<p>域内循環は大切な事だと思うが、今後重要になるのは釧路の人達自らが外から金を稼げるという事。各分野、各業界の方たちの努力なり工夫なりを、行政が後押しするような施策を考えていく必要がある。</p> <p>市としても、もっと積極的に取り組み、予算に反映する事だけでは無いが、十分踏まえた上で予算編成等に当たっていただきたい。</p>	<p>平成26年度予算の重点分野では、平成24年度に策定いたしました政策プランの、4つの実践ビジョンのテーマであります「域内循環」「人材育成・雇用」「安全安心」「拠点性」を進める施策について、重点的に予算化を図ったところであります。</p> <p>政策プランでの実践ビジョン1「地域資源の価値を高め域内循環させる地域経済」においては、農業者の経営基盤の強化、林業生産の基盤整備、水産業の振興、地場産品の消費拡大を図り、域内循環を活性化させる取り組みを進めて参ります。</p>
2	<p>観光の周遊に関して、各観光スポットの看板に音別・阿寒・釧路各エリアの他の観光スポット情報も載せると、そこに行った観光客が他の観光スポットを認識できるのではないか。</p>	<p>各観光スポットの看板に、他の観光情報を取り入れることは難しいと考えますが、各スポットには他の施設の観光情報が載ったパンフレットを常設しておりますので、より多くの観光客の手に触れる、あるいは目に入るような努力をして参ります。</p>
3	<p>クルーズ船の関係で、釧路の場合は車があると便利だと思うので、レンタカーの臨時営業所が港の近くにあれば利用できると思う。さらに地図等を配ると効率的に周れると思う。</p>	<p>レンタカーを利用する方は事前に予約される場合が多いことから、臨時営業所については現在のところ設置していませんが、インフォメーションで聞かれた際は近くの営業所を案内しています。また、路線バス、タクシー、JRの情報等についても提供していきます。なお、平成25年度はハイヤー協会が岸壁に臨時営業所を開設し、平成26年度も継続予定です。</p> <p>地図等については、これまでも配布をしているところでありますが、平成26年度からはクルーズで訪れた方を対象としたパンフレットの作成、配布を予定しております。</p>
4	<p>外から来た長期滞在等の方が、釧路を拠点にして道東を周る場合のルートや、自動車・バスを使った具体的な方法の提案をしてくれる場所が無いので、観光ガイドステーションよりしっかりした総合的に観光客や長期滞在者の活動をサポートできる拠点というのが必要になる。</p> <p>その拠点づくりでは、MOOの位置づけをしっかりと、日銀の跡地を何とかうまく活用できれば、釧路をイメージさせる幣舞橋界隈と釧路川を含んだ環境で、日銀自体も釧路・道東観光の非常に大きな拠点になりうると思う。</p>	<p>幣舞観光ガイドステーションでは、釧路観光ガイドの会によって観光客や長期滞在者への情報提供を行っているほか、釧路の街をめぐるガイドメニューの充実化を図っております。MOOの中でも館内案内のほか、簡易的な観光パンフレットなどの情報提供を適宜行っているなかで、中心市街地の拠点として情報を提供できる体制を検討して参ります。</p>
5	<p>小樽には銀行博物館があるが、釧路の日銀の建物を有効活用した場合には、もっと立派なものができるのではないか。</p>	<p>旧日本銀行釧路支店については、引き続き情報収集を行って参ります。</p>

	ご意見・ご要望	26年度取組内容
6	<p>大きな課題としていくつかの使っていない大きな建物が街中にいくつかが有り、雨が降ると上から水が落ちたり、風が吹くと壁が剥がれ落ちて非常に危険である。</p> <p>防災の観点からも、市として何とかしていく方策を立てないといけないと思うので、調査費等、どこかが買って何かするようであれば、アピールし、お膳立てしていくなど対策は取れると思う。</p> <p>もう一度中心市街地の整理、安全性を考慮して、まちづくりを進めてほしい。</p>	<p>防災の観点につきましては、老朽化が進行している空きビルの適正な維持管理について文書による注意喚起と、バリケードの設置による通行止めなど、関係部局が連携して指導と危険防止に努めています。中心市街地活性化については、民間事業者の動きも含め、今後の動向を注視して参りたいと考えています。</p>
7	<p>中心市街地活性化の関係で、利用者からすると車で郊外の方へ行ってしまう。道路を駐車可能にすると、便利になって街に来ると思う。</p>	<p>道路を駐車可能とする場合、駐車禁止の規制解除について、警察協議が必要となります。またバスやタクシーの乗降場所や、沿道商店街の物品搬入のための荷捌きスペースの確保などを考えますと、実現は難しいものと考えています。</p>
8	<p>学校図書が文科省の定める充足率に大幅に達していない。お金をかけずにどう充足率を上げていくか考えた時、民間で行われているブックシェアリングなどを取り入れた活動が必要になってくると思うので、考慮いただきたい。</p>	<p>市内小中学校の学校図書については、予算の範囲内で整備に努めているところです。</p>
9	<p>学校のカーテン等は、学校に現状割り当てられた予算では整備対応されないことがあり、一部の学校で保護者から集めたお金で、整備されているという現状がある。</p> <p>学校として必要な備品については、予算措置して充足できるようにしていただきたい。</p>	<p>学校のカーテンなど施設の維持管理上必要な物品については、必要性や緊急度により優先順位を決めて整備していますので、今後とも予算措置して整備していきたいと考えています。</p>
10	<p>学校施設について、校区によって児童数に偏りがあり、地域によっては普通教室が足りず、子ども達が特別教室を潰しながら勉強しているという実態と、逆に空き教室が非常に多い学校もある。</p> <p>どの学校に子供が通学をしても、同じレベルの環境で教育が受けられるように、プレハブでもいいので、何らかの措置をしていただきたい。</p>	<p>釧路市では、平成13年度に小中学校適正配置計画を策定し、この計画に基づき平成20年度まで年次的に統合や再編を行い現在の学校配置に至っているところです。</p> <p>児童生徒数につきましては、今後減少していくものと推計しており、現在の一部学校における過密な状況は解消していくものと考えておりますことから、現時点では現在の学校施設を維持し、今後の児童生徒数の推移を注視していきたいと考えています。</p>

	ご意見・ご要望	26年度取組内容
11	<p>介護の仕事をしたいという人が足りない状況。道東で一番大きいまちで、病院も沢山あり、運営者も釧路市以外から集まってきていると思うので何とかならないかと思う。</p>	<p>介護人材の確保については、平成22年度より、介護現場が必要とする人材の育成を図るため、介護サービス事業所で働きながら介護に関する資格を取得できる「介護雇用促進事業」(平成24年度までは「介護雇用プログラム事業」)を実施しており、平成26年度においても継続して取り組む予定としています。</p>
12	<p>社会教育の分野で、文科省が生涯学習を打ち出して、本来は学びながら地域に活かすことが基本だったが、個々が学習する事は応援するが、学んだことを繋ぐという部分の学習が無い。 地域で自分たちが住んで、地域を作っていることも含めて、社会教育は重要だと思う。 社会教育の公民教育と重なる部分が非常に手薄で、今そういう活動をしている方々は高齢者なので、若い人材を育てるという点と地域づくりとを含めて、人材育成や社会教育にもう少し力を入れていただきたい。</p>	<p>文化活動による循環型学習システムの構築をめざし、個の学びをひとりのもので終わらせず、その成果を発表できる場、知識・技術を伝達できる場を提供します。 また、今年度改訂した社会教育推進計画では、市民一人ひとりが自主的・主体的に地域社会の構築に積極的に関わるとともに、生涯にわたる様々な学習や文化・スポーツ活動の実現に向けた本市の社会教育の進むべき方向性を定め、釧路市生涯学習推進計画の基本理念を踏まえた各種施策を推進して参ります。</p>
13	<p>釧路市民活動センターが生まれて来年で10周年を迎えるので、8月30、31日の2日間に渡って「わっと生誕祭記念事業」を予定している。 複数の市民活動グループが結びついて全体で釧路のまちに効果を上げるような支援をしていきたいので、そういった活動ができるように、市としても全面的に取り組んでいく施策をお願いしたい。</p>	<p>当該記念事業を発端とし、複数の市民活動グループが連携することは、まちの活性化、特に中心市街地に賑わいや活力を生み出すことが期待できることから、市として記念事業を支援して参ります。さらに他のイベントも同時開催し、事業を盛り上げていきたいと考えています。</p>
14	<p>市民への補助事業などについて、市民の力を引き出して有効な事業を展開するため、行政の考え方の枠組に合わせるのではなく、現場で活動している実態に則した科目と、現場が活動しやすい予算の組み方を考慮していただきたい。</p>	<p>地域課題の解決に向けた市民活動を促進する元気な釧路創造交付金、市民団体の新しい活動に対して支援する市民団体協働補助金により、市民活動を支援して参ります。</p>
15	<p>国や道が出している補助の補足的なところに予算をつけていただきたい。</p>	<p>国や道の補助事業とは別に、市として必要な支援を検討して参ります。</p>